

## 【概要】

アジャイルプロセス協議会（2003年設立）では、時代の要請に応えたアジャイルプロセスを中心とした研究・調査などを行ってきました。特に、協議会のWG（ワーキンググループ）の一つである知働化（ちどうか）研究会（2009年創立）では、次世代のソフトウェア構築やテクノロジーの社会的意義などについて探求を行っています。

このたび当協会では、産学研究交流を主目的としたオープン形式のシンポジウムを開催する運びとなりました。午後は各種テーマに沿ったコミュニケーション主体のワークショップを行います。企画・プログラム等については、今後詳細化していく予定です。

【テーマ】 知働化 (Executable Knowledge and Texture)

【主催】 アジャイルプロセス協議会 知働化研究会

【日時】 2026年11月14日（土曜）9時半開場～18時閉会

【会場】 工学院大学（新宿キャンパス）

大教室 教室 (A-0611, A-0615)

小教室 4F教室 (A-0471, 0473, 0475, 0477)

【参加対象】 ソフトウェア領域の研究者、経営者、実務者、教育者、学生など

【参加料】 一般 ¥5,000, 参加予定約 60名程度, 協議会メンバ・学生 無料

【Symposium2023】

テーマ：AI時代のシステムの社会的意義

サブテーマ：超・個 (Hyper Existence) の時代の働き方

<http://ichi.jupiter.bindcloud.jp/sympo23an/>

【Symposium2024】

テーマ：超・個の能力

(Capability of Hyper Existence)

<http://ichi.jupiter.bindcloud.jp/sympo24an/>

【Symposium2025】

テーマ：知働化 (Executable Knowledge and Texture)

サブテーマ：知働化アライアンスの社会的意義

<https://1corp.biz/sympo25/>

【Symposium2026】

テーマ：知働の本質

サブテーマ：知働化アライアンス始動

<https://chidouka-lab.com/>

## 【プログラム】

10時～ 基調講演：おたのしみ（国立情報学研究所 名誉教授 高野明彦）

13時～ トラック（複数並行）、位野木研究室学生によるポスター展示もあります

テーマ例：AIと実践哲学、要求定義 ReBoK、知働経営など

18時～ 懇親会

## 【協賛団体（予定）】

情報処理学会 ソフトウェア工学研究会

ソフトウェア技術者協会、日本科学技術連盟、神奈川県 情報サービス産業協会など

## 【担当委員】

組織委員長：水越 明哉 paiza(株)（アジャイルプロセス協議会会長）

プログラム委員長：大槻 繁 (株)ー（知働化研究会）、濱 勝巳 (株)アズーリ（メタウェア研究所）

会場委員長・実行委員長：位野木 万里 工学院大学

## 【関連リンク等】

アジャイルプロセス協議会 <http://www.agileprocess.jp>知働化研究会 <https://chidouka-lab.com/>【問い合わせ先】 大槻繁 ([otsuki.s@1corp.co.jp](mailto:otsuki.s@1corp.co.jp))

2026.6.27 ■